

一見乾燥？ 「ブラックアイス」 に、ご用心 「減速、車間距離十分に」

2014年12月28日(日)13時54分

除雪されたアスファルト面と思ったら、まるでスケートリンク。透明な氷が覆った「ブラックアイス」状態の路面でスリップし、追突や橋の欄干などに衝突する事故が相次いでいる。特に橋やトンネル内などが危険地帯。通常速度、ブレーキのタイミングで運転した結果、止まりきれず衝突というのがパターンだ。警察は警鐘を鳴らし「減速と十分な車間距離を心掛けて」とする。

12月5日夜、山形市の陸橋で、車15台が次々と追突する玉突き事故が発生した。当時、路面は「ブラックアイス」状態だった。「ブレーキを踏んだが止まらなかった。縁石にタイヤを当ててなんとか止まった」「後ろから来た車がスピンして前の車にぶつかった」など、事故に巻き込まれたドライバーの言葉からは、なすすべがなかった状況がうかがえる。

山形県警交通企画課によると、過去5年間の冬季間(12~3月)に発生したスリップ事故は4042件で、同期間の全事故の約3割を占めている。死亡や重傷など重大事故に絞ると、計184件で、このうち▽カーブ▽橋▽トンネルでの発生が全体の約4割となっている。

これらの事故で、路面が「ブラックアイス」状態だった割合は非常に高い。特にトンネルは全体の50%、橋は36.9%。さらに、ざらめ状の着雪が混じるなどのアイスバーン状態だったケースと合わせると、トンネルが93.3%、橋は73%に上る。

県警本部交通部の部長は「一見して雪が積もっていないようでも、路面上で粉雪が舞う状態の時は要注意。ブラックアイスの可能性が高い」と話す。県警は冬道を走行する際の注意点として▽夏場より10キロ以上減速する▽車間距離は路面が乾燥している状態の時と比べ2倍以上取る一などを挙げている。

荷台からの転落、手足の挟まれ事故に注意！

バック時は 降りて確認 乗っても確認

2時間ごとに、15分休憩！

北海道内、元日は荒天か？

(2014/12/29 01:27)

札幌管区气象台は28日、29日~1月4日の天気予報を発表した。道内は気圧の谷や寒気の影響で、日本海側を中心に曇りや雪の降る日が多い見込み。特に1月1、2日は強い冬型の気圧配置となり、荒天になる恐れがあるという。気温は、29日は平年より高いが、30日以降は平年並みか下回る予想。

「太陽がまぶしくて見えなかった」

トラックが自転車に追突

冬期間中は、太陽の位置が低いので、要注意！

2014年12月27日(土)14時44分

26日午前7時30分ごろ、千葉県の町道で、直進中のトラックが自転車に追突した。自転車に乗っていた60歳ぐらいの女性が頭などを強く打つなどして意識不明の重体。警察は自動車運転処罰法違反(過失傷害)の疑いでトラックの男(71)を現行犯逮捕し、女性の身元確認を急ぐとともに事故原因を調べている。同署によると、現場は片側一車線の直線。男は「太陽がまぶしくて前が見えなかった」などと供述しているという。

4人死傷事故 逮捕の30歳「携帯操作していた」

2014年12月29日(月)6時26分

28日午前7時45分ごろ、広島県で乗用車が対向車線に飛び出しと軽ワゴン車が正面衝突し、4人が死傷した事故で、警察は、乗用車を運転していた女を過失運転致傷の現行犯で逮捕した。この事故で、軽ワゴン車を運転していた男性(72)と、後部座席に乗っていた女性(95)が死亡し、2人が重軽傷を負った。警察は、乗用車を運転していた会社員の女性容疑者(30)を、過失運転致傷の現行犯で逮捕した。現場は、片側1車線の緩やかなカーブで、警察の調べに対して、容疑者は「携帯電話を操作していた」と話しているという。